

不適合情報

2021年3月17日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	原子炉建屋付属棟低電導度廃液系排水槽(A)の液位計点検時、液位計スイッチの接断差(警報発生の設定値とリセット値の差)が基準値を逸脱していることを確認した。当該液位計のスイッチを交換。	2021/03/10	
2	6号機	原子炉建屋2階(管理区域)で作業に従事していた協力企業作業員が、入退域監視装置で退域処理を行っていたところ、 γ ・ β 線用警報付きポケット線量計に γ 線0.45mSv、 β 線0.1mSvを記録していることを確認した。作業場所の測定を行った結果、 β 線は検出されないエリアであること、および同一作業員の線量計には β 線が記録されていないことから、当該作業員の線量を評価し修正。当該線量計を使用禁止とし点検。	2021/03/11	
3	7号機	逃がし安全弁駆動系統の二号使用前事業者検査において、窒素ガスポンベを用いて系統の加圧を行ったところ、高圧窒素ガス供給系非常用窒素ガス圧力調節弁(A)の2次側圧力が上昇しないことを確認した。当該圧力調節弁の点検および動作確認を行い、再検査を実施。	2021/03/12	